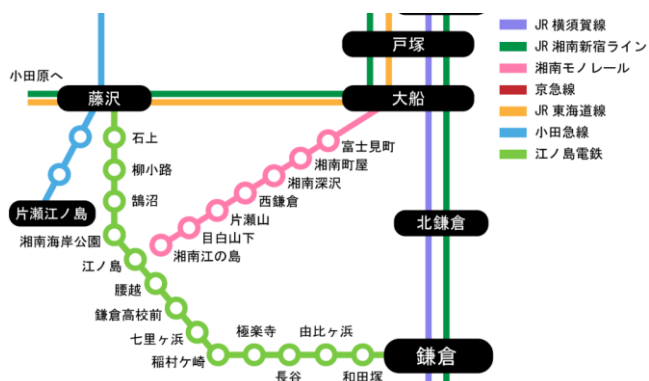


# 鎌倉歴史散策 鎌倉殿の13人の地

企画委員会



鎌倉殿の13人の地、鎌倉を訪れました。初冬の短日の一日を、目いっぱい活用した歴史散策でした。

午前、北鎌倉駅に集合し、鎌倉街道沿いの諸所にある臨済宗の寺院に参拝し、季節の秋のうつろいを詠嘆し、源氏の氏神鶴岡八幡宮を拝礼しました。

午後は、段葛の若宮大路を二の鳥居まで練り歩き往時の盛況を偲びました。その後、鎌倉駅からレトロな江ノ電に乗り、歴史を刻む駅名に思いを馳せ、江の島鎌倉海岸の夕日の陰影を觀賞し、長谷の鎌倉大仏の露座のお姿を仰ぎ見ました。

日時：2022年11月24日(木) 日帰り

集合：10時30分 JR北鎌倉駅 改札

交通費：鎌倉往復 2,000円(概算)

拝観料：諸寺拝観 2,000円(概算)

歩数：2万歩(午前1万5千歩、午後5千歩)

経路：集合・北鎌倉駅→円覚寺→東慶寺→

浄智寺→明月院→建長寺→鶴岡八幡宮→

昼食(持参の弁当)→若宮大路(段葛)→

乗車・鎌倉駅江ノ電→長谷駅→鎌倉大仏→長谷駅→

江の島駅下車→江の島弁天橋→江の島鳥居→

サザエのつば焼き+飲物→江の島弁天橋→

二手に分かれ解散

(江ノ電江の島乗車)と(小田急片瀬江の島)

参加者 15名

特別参加 Y氏(懇話会の鎌倉のお話の講師)  
要所でのご説明をいただきありがとうございます。



円覚寺前で出発式  
ワールドステイクラブ旗を掲揚

北鎌倉駅の目の前が、円覚寺でした。ここが、本日の鎌倉歴史散策の始まりです。一筆書きで回る目論みで、始点が鎌倉五山第二位の円覚寺、終点が五山第一位の建長寺です。いずれも臨済宗の寺院で、豪壮、趣、華やかさ、侘びなど、どんな鑑賞に応じてくれる佇まいでした。



## 円覚寺 瑞鹿山 円覚興聖禅寺



臨済宗鎌倉五山第二位  
本尊は宝冠釈迦如来  
発願；文永の役の戦没者(武士と元軍)供養  
開基；1282年北条時宗  
拝観料 500円



檜はだ葺きの屋根、  
太く力強い柱、配された紅葉、これぞ鎌倉寺院の力強さと秋の風情  
満載でした。

## 東慶寺 松岡山 東慶総持禅寺 縁切り寺



臨済宗鎌倉五山第二  
開基；北条貞時  
写真；撮影禁止  
拝観料 ナシ  
元尼寺で駆込み寺

山門に登る階段の下に、お願いの札がありました。「心のより所になることを切に願っております」の一文は、観光対象の撮影などせず心で感じるようにとのご指導でした。心新たにしました。

## 浄智寺 金峰山



臨済宗 鎌倉五山第四位  
開基；北条時宗夫人  
本尊；三世仏（阿弥陀如来、  
釈迦如来、弥勒如来）  
創建；1281年  
拝観料 200円



深い自然の魅力がある  
寺院でした。山門の両脇  
から冠る紅葉、背後には  
温暖な鎌倉特有の艶やか  
な緑葉、葉を落とした落  
葉樹のオブジェ、一幅の

絵画も敵わぬ自然の生み出した美術でした。

山門脇に鎌倉十井の一つとして名高い、甘露の井  
がありました。極く小さなものでしたが、清冽な  
水が湧きでるありがたみを感謝しているよう  
でした。

## 明月院 紫陽花寺



臨済宗建長寺派  
創建；1160年  
明月庵が起源  
開山；蘭溪道隆  
拝観料 500円

寺院名を記した入口の石、縦長でなんともい  
えぬ古色を帯びていました。

明月院へは、鎌倉街道から山道を辿り登り  
ます。



右手が崖、左手に水の流  
れる小さな掘割が続き、  
豊かに木々が生い茂っ  
ていました。紅葉の木々  
が、この季節の散策の  
目の楽しみを提供して  
くれました。これぞ鎌倉  
を思い描く景色でした。

## 建長寺 巨福山建長興国禅寺



臨済宗鎌倉五山第一位  
開基；北条時頼  
開山；蘭溪道隆  
本尊；地藏菩薩  
拝観料 500円



堂宇が数多く並ぶ壮麗  
な寺院でした。そのなか  
に、やや地味に梵鐘が  
ありました。1255年  
鑄造、総高2.1mも  
あり、口径

1.25mの存在感いっ  
ぱいの国宝です。

けんちん汁は建長寺が発祥、著名な鎌倉学園高は  
建長寺の学校が発端など、数え上げれば限りがない  
ほどの話題を持つ大寺院でした。

## 亀ヶ谷



鎌倉の地形は、北、  
東、西の三方が山で、  
南が海です。この山を  
切通しにした鎌倉への  
出入り口が7本あり、  
七口といわれています。

その一つが亀ヶ谷切通しで、深く掘った切通し、  
両側の崖の砂岩に木が覆いかぶさった遠目にも  
陰気くさく感じられました。

ちなみに、ここの東に鶴岡八幡宮があります。  
亀と鶴に因んだのでしょうか・・・。

## 巨福呂坂洞門



巨福呂坂も七口の一  
つで鎌倉時代の主要な  
切通しでしたが、現在  
通行不能です。これに  
替えて、明治から大正  
にかけて新たな道と  
して、建長寺か

ら鶴岡八幡宮に直接抜ける道が開削されました。  
これが現在の巨福呂坂洞門です。近代的なシェルター  
に覆われています。

## 鶴岡八幡宮 源氏の守り神



主神；応神天皇  
八幡三神；比売神、神功  
皇后、皇祖神  
本地垂迹；阿弥陀如来が  
八幡神の本地仏

建立 1191年源頼朝



鶴岡八幡宮は鎌倉武士  
の精神的団結の拠点で、  
鎌倉幕府の重要な政策  
は、ここで神意を問いま  
した。石段の左に銀杏が  
あり、八幡宮別当の公  
暁が源実朝を

討った故事の場所です。  
舞殿は義経愛妾の静が、  
頼朝の命により舞を舞っ  
たところです。上宮楼門  
の額の八の字は二羽の鳩  
です。おなじみ鳩サブレ  
ーの鳩です。

訪れた日は一点の雲も  
ない初冬青空で、時節柄  
七五三の親子連れが目立  
ちました。かなり豪華な  
衣装を身に着けた親子に、  
専属のカメラマンが付

きつい撮影する様子は、平穩無事と健やかな成長を願うそのものでした。

### 源氏池



鶴岡八幡宮の三の鳥居をくぐると、左右に池があります。境内に向かい右側が源氏池です。左が平家池です。両池は水路で結ばれ、

そこに太鼓橋が掛かっていました。

### 昼食 持参弁当を食べる



この源氏池の畔のベンチで、昼食をとりました。持参の思い思いのもので、おにぎりあり、豪華弁当ありでした。子ども時代の遠

足の気分の蘇りがありました。

源氏池には大きく立派な鯉が泳ぎ、池畔には鳩がここそこと歩き、目の前にはさざれ石があり、本日午前のトりの舞台でした。

昼食後、若宮大路の段葛を通り、途中鳩サブレーの本店を横目に見て、小町通りの入口の鳥居を眺めました。



今どきは、小町通りが人気です。

### 若宮大路



頼朝が鎌倉に官衙を設置した時に、由比ヶ浜の八幡宮を現在地の山側に移し、両地域を結ぶ大通りを若宮大路として造成しました。

東に小町大路、西に今小路が平行していました。

現代の若宮大路の両側は、鎌倉名物の車列渋滞です。赤い二の鳥居の前に行く赤い車は、ここが若宮大路です。

### 段葛

若宮大路は段葛となっていて、一段高くなっています。発掘調査から、両側には御家人の屋敷が並び、若宮大路側に築地塀を建て、しかも掘割によって隔てられていた様相がわかったそうです。御家人の屋敷は、若宮大路に背を向けていたこととなります。

復元された段葛は二の鳥居までで、ここを右に曲がると JR 鎌倉駅でした。

### 小町通り入口 赤い鳥居が目立つ



昭和に商店会が作られ、10年ほど前に電線の地中化が完成してお洒落な商店街に変身しました。大人気で、「門前賑わい成す」で

す。

### 江ノ電鎌倉駅



有名になった江ノ電、その乗車が、午後のハイライトです。江ノ電は民家の軒先や玄関前をかすめて走る、昔懐かしい電車の面影一杯です。江ノ電の沿線駅は、歴史の重

み満載です。

### 鎌倉大仏 高德院



国宝指定 1958 年  
拝観料 300 円

長谷駅で下車し、鎌倉の大仏様を拝みました。露座のためか青空を背にしたお姿は、むしろ清々しく感じられました。

鎌倉大仏は阿弥陀如来像で青銅製で、高さ 13m、総重量 122 吨です。もともとは大仏殿の中でしたが、15 世紀末の明応大地震の津波で流され露座になったのです。

### 江の島の鳥居

本日の散策の締めは、ご存じ江の島です。右手に海に沈む夕日を眺めながら、江の島弁天橋を渡りました。



この鳥居の近く迄来ると、サザエのつぼ焼きでしょう、何とも言えぬよい香りが立ち昇っていました。ご一行さまは、本日の反省会を兼ねて店に入り飲物と共にこれを注文するという場面となりました。

### 小田急 片瀬江の島駅

江の島には、竜宮城のような駅がありました。ライトアップされた姿は、そのものでした。

本日の歴史散策は、これにて閉幕でした。

